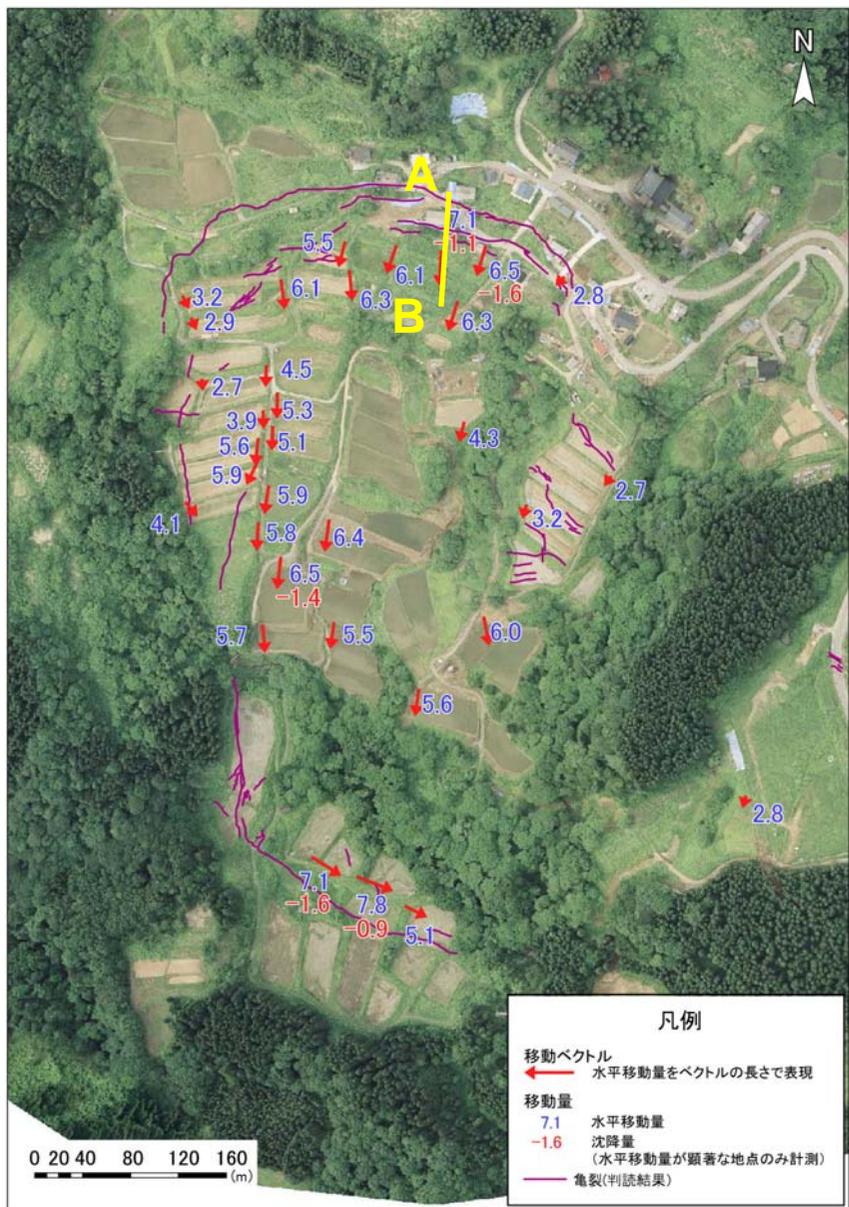
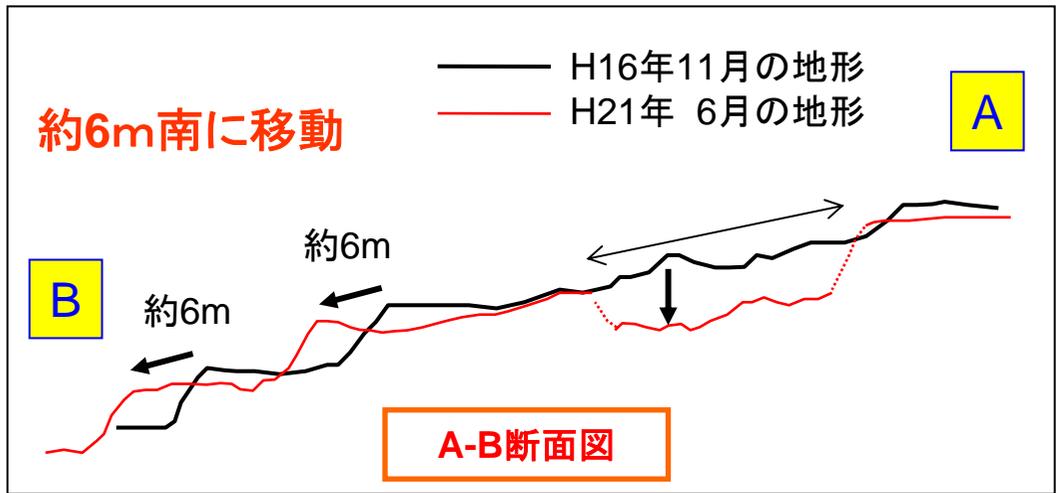


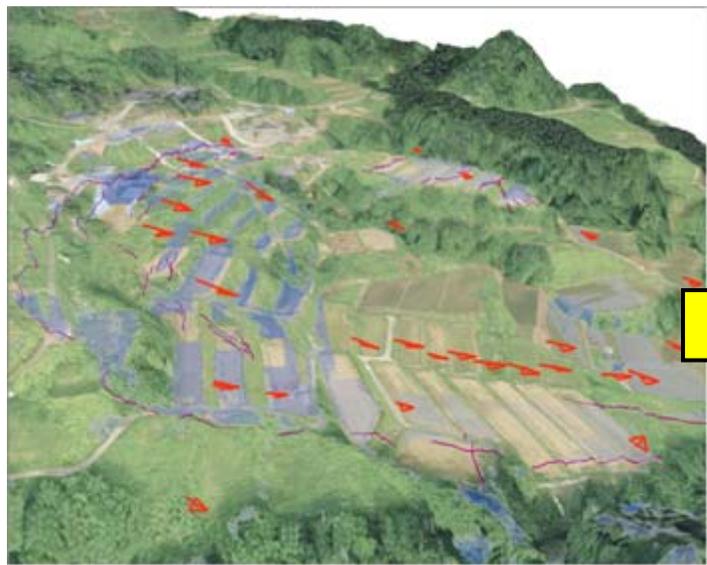
# 山形県鶴岡市七五三掛地区における航空レーザ計測結果について(1/2)



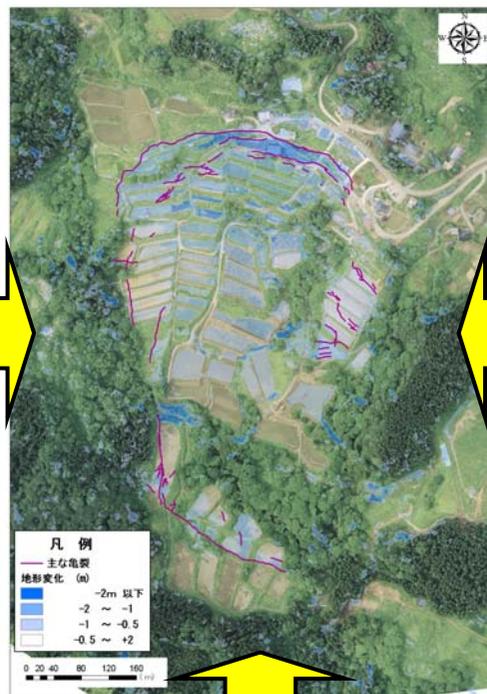
地すべり移動ベクトル図



- (1) 左図はH16.11の地形とH21.6の地形を比較して、地盤の移動量を矢印で表したものです。空中写真から読み取った亀裂も併せて表示しています。
- (2) 道路の角や田の角を目安に同じ地点がどこへどれくらい移動したのかを表しています。
- (3) 矢印の起点はH16.11の位置で、矢印の先がH21.6の位置です。矢印の横の数字は移動した距離(青字は水平距離、赤字は高さ)です。
- (4) 亀裂で囲まれた範囲が全体的に約6m南に移動し、1m以上沈下しています。
- (5) 南端の地すべり末端では移動の方向が東を向いています。



②西から見た鳥瞰図



③南から見た鳥瞰図



①東から見た鳥瞰図

(1)上段中央の図は、  
H21.6の空中写真の上に  
地盤の沈下量を重ねて表  
したものです。

(2)空中写真から読み取っ  
た亀裂も併せて表示してい  
ます。

(3)図①②③は鳥瞰図で  
す。移動の方向を表す矢  
印も表示しています。

(4)地すべりが全体的に南  
に移動しており、南端の地  
すべり末端では移動の方  
向が東を向いています。